



市立池田病院だより

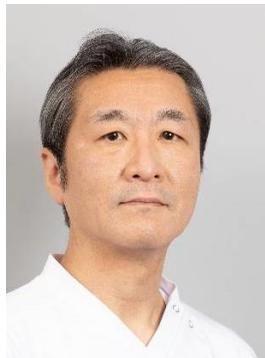
基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第43号

2022年4月発行

副院長就任のご挨拶



副院長 尾崎 由和

このたび副院長を拝命いたしました、小児科の尾崎です。1985年に大阪大学を卒業し、そのまま阪大小児科で研修をしました。その後、大手前病院、ベルランド総合病院、大阪大学医学部附属病院、国立病院機構大阪医療センターを経て、2012年に市立池田病院に主任部長として着任しました。専門は栄養、内分泌で、子どもの特徴である「体がおおきくなること」に興味を持って診療をしています。

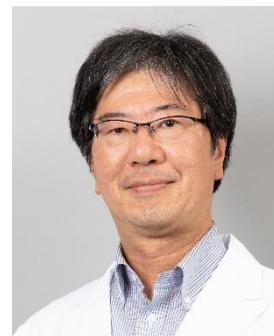
尾下病院長とは大学の同級生で、名簿もずっと隣り合っていました。気心の知れた間柄ですので、病院長をしっかり支えて、病院をもり立てていきたいと考えています。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

本年4月より副院長を拝命いたしました、血液内科の森山です。当院には2001年に着任し、今年で22年目となります。

これまで血液内科医として、悪性リンパ腫のほか、高齢化の進展に伴い、決して稀な疾患ではなくなってきた骨髄異形成症候群や多発性骨髄腫を最新の治療ポリシーのもと、全力で治療に当たってきました。また、大阪大学との連携により、同種造血幹細胞移植や、免疫療法の新しい形であるCAR-T療法を受けていただいている患者さまも年々増加しております。

そして、消化器内科や呼吸器内科など内科系の各診療グループも新しいスタッフを迎え、ますます体制を充実させております。

目下、新型コロナウイルス感染症はまだ終息には時間がかかる状態ですが、市民の皆さまが安心して治療を受けることができるよう、尽力してまいります。



副院長 森山 康弘

4月から診療科名が変わりました

4月より、下記の診療科におきまして、標榜科名を変更しました。

内分泌・代謝内科 → **糖尿病・内分泌内科**

神経内科 → **脳神経内科**

患者さまの権利

- ・個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・十分な説明を受ける権利があります。
- ・診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

血糖値の「見える化」で、隠れ高血糖を退治

FreeStyleリブレ

血糖測定は
痛くていやだ！

かざすだけでOK



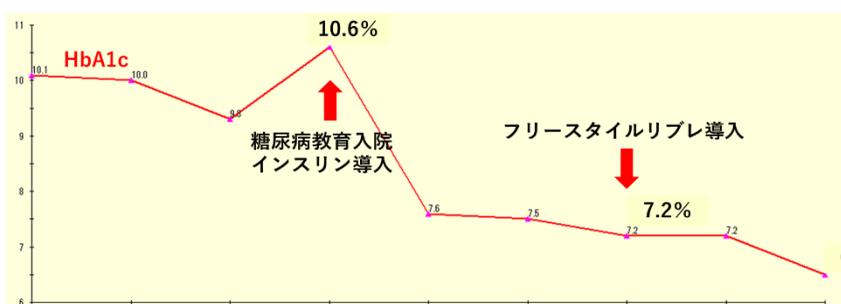
- センサーの装着は簡単
- 交換は14日間に1度
- いつでもどこでも
何回でも測定可能
- お風呂や運動もOK
- 測定は服の上からでも可能
- スマートフォンでも可能

近年、上腕部にセンサーをつけ、機械をかざすだけで血糖が測定できる間歇的持続血糖測定器（フリースタイルリブレ®）を使って、血糖管理を行う患者さまが増えています。2022年4月1日の診療報酬改定で保険適用となり、インスリンを使用するすべての方が対象となりました。機械をかざすだけで血糖値がわかるだけでなく、血糖値の変化を連続的に記録し、グラフ化して血糖値を「見える化」することで、隠れた高血糖や危ない夜間の低血糖などを見つけることもできます。また、日々の食事や運動の影響も簡単に確認でき、生活習慣の改善やモチベーションの維持に役立ちます。

外来で簡単に導入できますので、ご興味のある患者さまは、ぜひ、主治医にご相談ください。

糖尿病教育入院でマンネリを打破！

70代女性 糖尿病歴16年



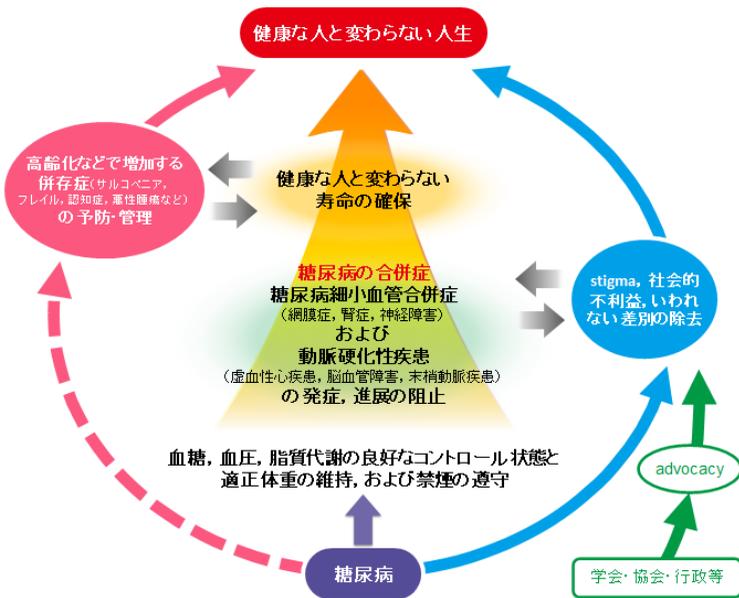
左のグラフは、糖尿病歴16年の70代女性のHbA1c(血糖値の高さを示す数値)の推移です。薬を3剤飲んでおり、自分なりに食事療法もしてきましたが、なかなか血糖が下がらず、HbA1cは10%台が続いていました。そこで、202X年Y月、マンネリを打破するため、一念発起し、教育入院されました。

入院して検査をしてみると、長年の治療により膵臓が疲弊し、血糖をさげる大事なホルモンであるインスリンが低下していることがわかりました。そこで、インスリンを注射したところ、みるみる血糖が下がったので、自分で打てるように練習しました。また、看護師や薬剤師、管理栄養士から、血糖測定の方法や食事や運動、薬剤が血糖に与える効果もマスターしました。退院後も血糖測定を続けていると、どのような食事をしたら血糖が上がるのか、運動はどの程度効果があるのかがわかり、血糖測定が面白くなってきました。そこで、リブレに挑戦することにし、生活習慣病・糖尿病センターでリブレをつけてもらってすぐモニターを開始しました。その結果、血糖の変動も手にとるようにわかり、今では手放せなくなっています。

糖尿病教育入院は、食事・運動・薬剤に関する知識を得ることで、自分の血糖を自分の力でコントロールできるようになるためのお手伝いをします。入院はゴールではなく、スタートです。HbA1cが8%未満なら8日間の、8%以上なら15日間の、それぞれ教育入院をお勧めします。

コロナ禍が生活習慣病に大きな悪影響

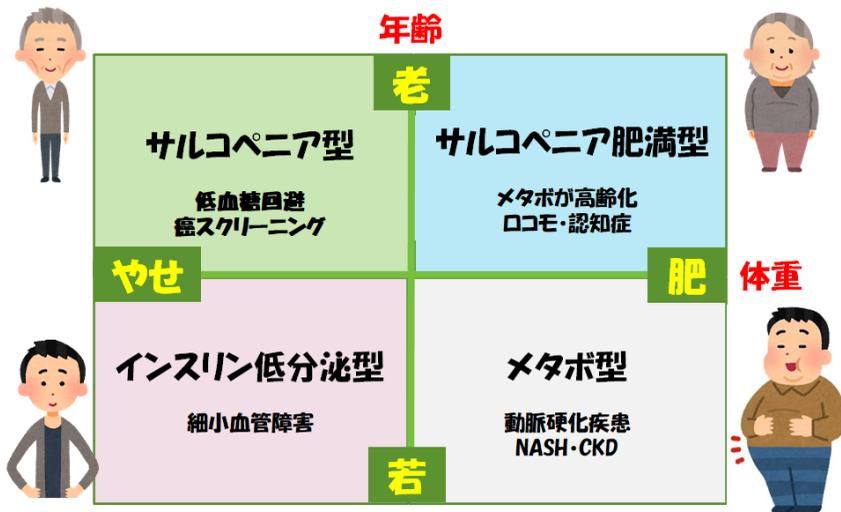
コロナ禍の中、度重なる外出制限から引きこもりになり、血糖コントロールが悪化するだけでなく、筋力低下や認知症といった合併症が進行してしまう高齢糖尿病患者さまが増加しています。一方、勤労世代でも、在宅勤務による運動不足から肥満・メタボリック症候群を悪化させたり、自覚症状がないため糖尿病を放置し、網膜症や神経症などの合併症が著しく進んだ状態で初めて受診する患者さまも増えてきました。



糖尿病治療の目標は、血糖、血圧、脂質、体重を適正に管理し、最終的には糖尿病患者さまが健康な人と変わらない暮らしを送ることができるようにすることです。そのためには、看護師、薬剤師、管理栄養士など、それぞれの分野のプロフェッショナルから構成される当院の生活習慣病・糖尿病センターで生活習慣改善に役立つカウンセリングを受けることも大切です。特に腎臓病を予防するための生活習慣指導である「透析予防指導」や、「フットケア」（足のお手入れ）などがお勧めです。

あなたはどのタイプの糖尿病？

糖尿病患者さまのライフステージと病態



近年、SGLT2阻害薬やGLP-1作動薬といった新世代の薬剤が、低血糖や体重増加を起こさない血糖コントロールを可能にするだけでなく、心不全や心血管病を防ぎ、腎予後を改善することが大規模臨床試験で明らかにされました。健康寿命を伸ばすという糖尿病治療の最終目標を達成するためには、これらの薬剤を上手に使うことが重要です。また、どのような薬が自分に適しているかは、年齢や体格、合併症の有無などで変わってきます。当院では、入院や外来で詳細な検査を行い、患者さまの病状に合わせた最適なお薬を提案させていただきます。

今の薬はあなたに合っているのでしょうか？
自分のタイプや合併症（心臓・腎臓・肝臓）
に合わせた薬を使用することが大切です。

新任医師のご紹介



すみ てつろう
墨 哲郎

歯科・歯科口腔外科

現在まで、大阪大学歯学部附属病院および4か所の地域病院に35年間勤務し、培ってきた臨床経験を活かし、地域医療に貢献してまいります。



おおさき やすひろ
大崎 康宏

耳鼻いんこう科

難聴、めまいなどの耳科疾患を専門としていています。地域医療に貢献できるよう努力いたします。



おぎやま ひではる
荻山 秀治

消化器内科

消化管癌の内視鏡診断治療を得意としております。内視鏡治療を中心に皆さまのお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



ふじた しんご
藤田 真吾

糖尿病・内分泌内科

2022年4月より、糖尿病・内分泌内科医として勤務することになりました藤田真吾です。

少しでも池田市の医療に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



たちばな ようすけ
橘 陽介

麻酔科

4月からお世話になります。様々な診療科での経験を活かして病院に貢献できたらと思います。



かげやま みさき
影山 美沙紀

総合内科

まだまだ若輩ではございますが、懸命に取り組もうと思っておりますので、皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



よねだ みどり
米田 翠

呼吸器内科

4月より着任いたしました米田 翠と申します。市立豊中病院、大阪はびきの医療センター、大阪

大学医学部附属病院で勤務してまいりました。呼吸器診療を通して、地域医療に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



いぶち せいご
井淵 誠吾

産婦人科

患者さまに寄り添い、地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



たかむら まなぶ
高村 学

放射線科

10年ぶりに市立池田病院に再赴任することになりました。以前の病院では、CT、MRIの画像診断やIVR

(X線透視やCTの画像ガイドを使用した血管内治療や画像下誘導治療)を中心に診療しておりました。10年前と比べて画像診断装置は刷新されており、これらを用いて、経験を活かし、安心できる診療を行っていきたく思います。よろしくお願いいたします。



おおたに やすし
大谷 安司

呼吸器内科

前任地は市立豊中病院で、約10年勤務して地域に根ざした診療を行ってきました。市立池田病院に赴任するにあたり、引き続き地域の皆さまのお役に立てるように努める所存です。



むらた くにこ
村田 久仁子

麻酔科

痛みや恐怖という患者さまの苦痛をできるだけ取り除けるような、安心・安全な麻酔を提供できるように努めます。よろしくお願いいたします。



むらた じゅん
村田 淳

消化器内科

前任地の市立東大阪医療センターでは、市中病院で経験するほぼ全ての消化器疾患に対応できるように日々研鑽してきました。

特に、早期癌に対する内視鏡治療(ESD、EMR)や胆膵領域の内視鏡検査・治療(ERCP、EUS関連手技など)、消化管ステントに関しては、数多くの症例に従事してきました。また、癌の中でも最も難治とされる膵癌の早期発見・診断を目指した取り組みは、実績を重ねるとともに高い評価を頂きました。これらの経験を生かし、引き続き市立池田病院でも実践していきたいと考えています。また、患者さまのニーズに合ったベストな治療を提供できるよう、引き続き知識と技術の向上を目指していきます。今後とも、よろしくお願いいたします。



べっぶ しょうへい
別府 祥平

脳神経内科

個々の患者さまに寄り添った医療を心掛け、頑張っております。よろしくお願いいたします。



かわきた はるか
川喜田 遥香

皮膚科

この度、ご縁があり、茨城県より転居し、市立池田病院皮膚科の医師として赴任いたしました。初めての大阪の土地に緊張しておりますが、丁寧な診療を心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ページ数の関係で次号も引き続き新任医師の紹介を予定しています。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510
大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881 (代表)
Fax 072-754-6374
URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会



アカウント：
ikedata_city_hospital

バックナンバー

